

妙高を支える人たち

関山生産森林組合

組合長理事 後藤 求

今回、私が社会教育功労者として、文部科学大臣表彰を受けましたが、これは国立妙高青少年自然の家を中心とした各種の活動が、地域と一体となって進めてきたことが認められたことであり、私だけでなく地域の代表として受けたと理解しております。

国立妙高青少年自然の家は、毎年十三万人以上の子供たちが妙高の自然を体験しています。

この子供たちの活動をより安全に、また魅力ある活動にするために、コース整備や新規ルートの開発に職員とともに努め、源流探検を中心に講師を努めております。

私が、子供たちに思い入れするのは、青少年時代に父から山の仕事を教わるとともに、種々の仕事を実務した経験を生かし、現在の生活と昔の生活との違いを伝承することが私の努めと思っているからです。

この妙高の歴史・文化、そして妙高山麓の自然環境の素晴らしさを次世代に残すように、今後も努めていききたいと考えられています。



NPO 法人妙高山麓自然体験活動指導者会

理事長 藤井 清比古

当会は、国立妙高青少年自然の家と連携し、妙高を訪れた人たちの要望に応じた自然体験活動ができるように、自然を熟知した指導者を派遣しています。

川の学習・森の学習・山の学習など自然を直接体感する活動、季節の天体を観察する星の学習、仲間と一緒に自然の中で挑戦する冒険活動や人間関係づくりの活動、アルペンスキーや歩くスキーの技術を楽しく習得し、冬の自然を楽しむ活動、登山や炭焼き体験、自然の素材を使つてのクラフト体験などの学習や体験を通して、自然を満喫してもらえるように、それぞれ専門の指導者を揃えています。

冬季の自然体験活動を前に、スキーの指導員は「楽しいスキー」を基に、雪に親しみながらスキー技術を習得し、上達へ導く指導法を研修しました。

四季を通して妙高山麓の豊かな自然の中でこそ培われる知恵や技術を皆さんに伝え、自然の素晴らしさを体感すると同時に、自然の中でたくましく生き抜く力を養ってほしいと願って、体験活動のお手伝いをしています。



上越教育大学4年 萩原 麻弓

私は4年間国立妙高青少年自然の家にボランティアとしてお世話になりました。ボランティアをしていく中で、今まで気づかなかった自分の良さや欠点に気付くことができました。その気付きは今後の私の生活に生かしていきたいです。また、たくさんの方との出会いがありました。たくさんの方を教えていただいた妙高の法人ボランティア、社会人の方、いつも笑顔で迎えてくれた妙高自然の家の職員さん、他施設に行ったからこそ出会えた他施設のボランティア、他施設の職員さん、様々な人に支えられて4年間ボランティアをしました。普段学校では出会わない人に出会ったこと、つながりができたことは私のこの4年間の宝物です。また、人だけではなく施設にも感謝でいっぱい입니다。様々な施設に行きましたが、私はやっぱり妙高自然の家が安心します。大好きです。たくさんのおもいがつまった施設です。この感じた様々なおもいを大切にしながら、これからもおもいをカタチに！がんばっていきます。4年間本当にありがとうございました。



【協賛いただいている企業】

朝日酒造(株)

カスタマーコミュニケーションション部

部長 平澤 聡



当社は、企業理念として地域の自然環境を守る活動を行っています。

す。地元越路地区の学校と連携して「ホタルの育成」や地域の「ホタルまつり」への協賛も行っています。また、「(公財)こしじ水と緑の会」を設立し「里山自然教室」や各種の体験会も開催しています。国立妙高青少年自然の家には、次世代を担う子供たちに対して自然体験をたくさん提供する施設として、私たちの企業理念とあつた活動をされており、少しでもお役に立てればと思ひ協賛させていただきます。

個人的には、「新潟県自然観察指導員の会」や「新潟県シェアリングネイチャー協会」の役員を務めています。それぞれの会では、指導者講習会を国立妙高青少年自然の家で実施しています。国立妙高青少年自然の家の皆さんも、多くの子供たちや指導者によりよい自然環境とプログラムを開発して提供いただければと願っております。

国立妙高青少年自然の家では、平成24年度～26年度に次の企業からご寄付をいただきました。
(敬称略・五十音順)



(有)アイビーオート

朝日酒造(株)

家、Sハセガワ(株)

(株)大谷ビジネス

大塚製薬(株)長岡出張所

岡本石油

小山(株)新潟営業所

頸南バス(株)

(株)謙信堂

高坂防災(株)

国際自然環境アウトドア専門学校

サントリーブパレツジ

サービス(株)上越支店

新星建機工業(株)

(株)スワロースキー

(株)第一印刷所上越支店

(株)高館組

(株)桐朋

永田印刷(株)

新潟みらい建設(株)上越営業所

(株)西協電気商会

(株)ニッコトラスト

(株)パーツプロダクション

(有)白星社

ホシザキ北信越(株)上越営業所

(株)丸山酒造場

コカ・コーライーストジャパン(株)

妙高観光開発(株)

妙高カントリークラブ

(株)横瀬オーディオ

(株)渡辺リネン

新潟県南西部の当時妙高村(現妙高市)の妙高山の麓に国立妙高青少年自然の家が、14番目の最後の国立少年自然の家として平成3年4月に設置されました。設置にあたっては地域の方々から熱心に誘致活動を行っていただき、また多くの方から当施設の事業・活動・環境整備等設置から現在に至るまで、多くの方や企業に支えていただき、年間13万人を超える方からご利用いただいています。

NPO法人妙高山麓自然体験活動指導者会 藤井清比古理事長は、当施設のさまざまな活動の指導に対応するため指導者会を設立していただき、全分野の研修指導員の牽引役としても活躍されています。関山生産森林組合 後藤組合長理事は、地域の自然を活用した森林教育に精通しておりネイチャープログラム講師としてプログラムの開発や、源流探検等の指導者として活躍されています。また、子供達が安全に活動を行えるように、常にフィールドの点検や整備に気を配ってくださっています。

ボランティアの萩原麻弓さんは、当施設のボランティアとして多くの事業に係わってくださるとともに、上越教育大学のボランティアのコーディネーターとして活躍され、子供達とボランティアの架け橋となってくださいました。

企業様からは厳しい社会状況の中、事業運営や施設運営の支援・協力のためにと協賛や寄附をくださいました。このように地域の方や企業が支えてくださることで13万人の方の体験活動が成り立っています。利用者が、「また妙高に来たい」と感謝の言葉を伝えてくれます。これは妙高を支えてくださる皆様方へのお礼でもあると思います。国立妙高青少年自然の家を支えてくださる方々や企業様に心から感謝申し上げますとともに御礼申し上げます。

妙高を支える人たち